

I 人権ネット報告

<はじめに>

2022年度人権資料・展示全国ネットワーク（以下人権ネット）第27回総会が10月13日（木）から14日（金）北海道沙流川町二風谷で開催されました。人権ネットは15団体で設立され、現在29団体が加盟しています。一日目は、沙流川歴史館で総会と加盟団体の近況報告、記念講演がありました。二日目は、沙流川歴史館視察後、フィールドワークが行われました。記念講演「二風谷に生まれて」（講師貝澤耕一さん）の内容を報告します。

○ 子どものころ

教室の窓から、アイヌの人が酒に酔いふらふらと歩き、地面に寝転んでいるのをみて、アイヌは嫌だと思うようになった。しかし、日本政府が突然、サケを捕ることを禁止し、それにより、仕事ばかりか主たる食料の魚も捕ることができなくなり、さらに捕れば犯罪者になることを知った。あの頃のアイヌは酒におぼれるか、自殺をするしかなかったのではないかと思うようになった。

○ 二風谷ダム裁判について

アイヌ文化は、自然から全てをいただいて生きているという考えで、土地はみんなのもので、土地の所有概念さえなかった。ダムはその自然を壊すことになる。もともと沙流川のダムは砂防ダム。砂が流れて溜まり、大雨が降ってダムを開放すると下流に砂が溜まり、シシャモなどの卵が窒息して死んでいった。

92年5月から始まった裁判の判決は、何の調査もせず建設を進めることは違法との判決であったが、行政は判決を無視して、まるで何もなかったかのように土地を強制収容し、今年3月にダムは完成した。

二風谷には、3つのアイヌ資料館があり、アイヌがたくさん住んでいた場所である。アイヌ文化の一番大切なことは、食。山菜を採ること、魚を捕ることであり、それを守らなくてアイヌ文化の継承は無い。ダムはそれを根底から無くしてしまった。

「二輪草」はアイヌ文化で大切な花で、以前はダムの場所に群生地があった。ダムが出来たところに長く行っていないが、今度見に行ってみようと思っている。きっと、絶滅しているのではないだろうか…。

○ 違いを認め合うこと

今、違っている、変わっている人がいじめの対象になってしまう。違った人や変わった人は、自分に無いものを持っている人なんだ。一人一人違って当たり前だし、違いを認め合い、理解し合わないとは差別は無くならないと思っている。

<おわりに>

二日目のお昼のお弁当に、オオウバユリの根っこから取ったデンプンで作ったお団子が入っていました。「姥ゆりのたたり」というアイヌの物語を読み聞かせの本として選び、稽古していた私には、是非食べてみたかったものです。この団子一つ分のデンプンを取るために、たくさんのオオウバユリが必要で、何度も水にさらし、沈殿させて作る行程がどんなに大変か知っていました。アイヌの方々が大切に伝えてきた自然からのものをいただくという心をかみしめながら、一口ずつ口に運びました。二日間にわたる総会とフィールドワークで、全国の仲間の方々と交流を深めることもできました。次年度は、北海道旭川市の予定です。（事務局 Y）

II お知らせ

(1) ハートフルフェスタ福岡

ハートフルフェスタ 2022 に当研究所のブースを出展します。10月23日(日)ソラリアプラザ1階ゼファ会場で展示します。テーマは「木村かよ子のスケッチブック」です。天神に用事をつくっておいでください。詳細は下記の URL から。

https://www.city.fukuoka.lg.jp/shimin/jinkenkihatsu/heartfulfestafukuoka_2022.html

(2) ふれあいフェスタ 2022/第15回北九州市障害者芸術祭

日時：11月20日(日)11:00~16:30 ☆当研究所も出展します。北九州市へもおいでください。

会場：ウエルとばた（北九州市戸畑区汐井町1番6号（JR戸畑駅前））

(3) 第1回外国人部会

講演：「コロナ下のスリランカへの食料支援について

—東部・紅茶畑地域での小規模教育支援と合わせて—

講師：志村 真さん（日本キリスト教団飯塚教会牧師・中部学院大学短期大学部教員）

日時：11月26日(土)14:00~

会場：若松生涯学習センター 第三集会室（詳細は当研究所フェースブック参照）

（講演概要）前号掲載

(4) 部落解放・人権確立第41回全九州研究集会

日時：2022年11月29日(火)13:00全体会 会場：北九州市西日本展示場

11月30日(水)8分科会 会場：ソレイユ大ホールなど

*第4分科会（北九州市立商工貿易会館多目的室）では、当研究所から小正路淑泰さん、園田久子さん、角田幸一さんが報告します。『絵本 いのちの花が生まれでた!!—実践事例集—』など図書販売も行います。多数の参加お待ちしております。

参加費：4000円 参加希望の方は当研究所まで連絡ください。

(6) 第2回部落問題部会研修会

日時：2022年12月3日(土)午後開催

会場：田川労働福祉文化館 *内容検討中

(7) 海外人権スタディツアー企画部会 in 沖縄（2023年1月4日~6日）事前学習会

日時：2022年12月4日(日)14:00~17:00

会場：ヒューマンアルカディア研究室

*このスタディツアーは誰でも参加できます。（募集要項は当研究所フェースブックから）
<*各部会・講座の開催等の詳細については、ホームページをご覧ください。>

☆ホームページ <https://www.f-jinken.com/>

〔人権研究所の本〕

新谷恭明『校則なんて大嫌い！—学校文化史のおきみやげ—』

久米祐子『子どもから障害児を「分けない教育」の戦後史インクルーシブ教育とは—』

木村政伸『教室の灯は希望の灯 自主夜間中学「福岡・よみかき教室」の二五年』

関 儀久『感染症と部落問題 近代都市のコレラ体験』

森山沾一・和智俊幸・横田司・坂田美帆

『殉義の星と輝かん~百年生きる「解放歌」と柴田啓蔵』

☆お求めは⇒<https://books-f-jinken.raku-uru.jp/>

☆ニュースのバックナンバーは下記研究所公式サイトでご覧いただけます。

<http://www.f-jinken.com/newsliberacion.html> ニュース担当：峰

*email info@f-jinken.com（登録解除はこちらへ）